

令和2(2020)年度

福岡市埋蔵文化財センター一年報

第40号



2021

福岡市教育委員会

序

アジアに向けて開かれた福岡市は、古来より対外交流の拠点として歴史的に重要な位置を占めてきました。市内にはこのことを示す数多くの遺跡が残されています。

そのため、市内では数多くの発掘調査が行われており、出土した膨大な遺物や記録類を適切に保存、収蔵、管理し、また活用していくため、福岡市埋蔵文化財センターは昭和57年2月に開館しました。以来、二度にわたって増改築を行い、施設の充実に努めてまいりました。さらに、平成28年3月には増加する収蔵資料の保管場所として新たに月隈収蔵庫を取得し、埋蔵文化財文化財の適切な保管と活用に一層努めています。

さて、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、年度当初に臨時休館を余儀なくされ、さらに毎年開催してきました考古学連続講座も感染拡大防止の観点から中止いたしました。しかし、コロナ禍の中、感染予防策を講じた上で、夏休みの「収蔵庫ツアー」や発掘調査速報講座、小学校を対象とした出前授業を開催するとともに、「疫病に負けるな！」と銘打った展示なども行い、埋蔵文化財の活用や普及に努めました。

今後ますます当センターの利用が図られ、埋蔵文化財保護に向けた意識が高まることを切に願います。

令和3年12月24日

福岡市教育委員会
教育長 星子 明夫

目次

I 埋蔵文化財センターの概要	
1. 組織と職員	1
2. 施設	1
3. 令和2年度当初予算及び決算	3
4. 令和2年度入館者数	3
II 令和2年度の活動	
1. 市内出土国指定重要文化財の公開・活用	4
2. 資料の収蔵・整理	5
3. 教育・普及	6
4. 保存処理	11
付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等	
付2 令和2年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書・年報報告一覧	

例言

1. 本書は令和2年度（2020年4月1日～2021年3月31日）の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。
2. 本書の執筆は、II-1を上角智希、II-3を服部瑞輝、II-4を上角・服部・藤崎彩乃、その他を板倉有太が担当し、編集は板倉が行った。

*表紙写真：雀居遺跡第18次調査出土トンボ玉（令和2年度収蔵）

I 埋蔵文化財センターの概要

1. 組織と職員

(1) 福岡市文化財行政の組織

平成24年度の機構改革で、文化財部は経済観光文化局へ移管し、埋蔵文化財センターは所長のみ教育委員会と兼務となった。

文化財活用部の組織

文化財活用課	管理調整係	部の総括、予算・決算、庶務・経理、文化財施設の管理
	調査普及係	文化財保護審議会、文化財の調査、普及事業
	歴史資源活用係	歴史文化基本構想の策定、赤煉瓦文化館有効活用、文化財関係団体との連絡調整
史跡整備活用課	福岡城跡整備係	福岡城跡の調査・整備、課の庶務、福岡みんなの城基金
	鴻臚館跡整備係	鴻臚館跡の調査・整備
	史跡整備活用係	史跡の保存・整備・活用
埋蔵文化財課	事前審査係	公共及び民間開発事業に係る埋蔵文化財の事前調整及び周知
	調査第1係	主に東部地区における埋蔵文化財の発掘調査及び保存、課の庶務
	調査第2係	主に西部地区における埋蔵文化財の発掘調査及び保存、課の庶務
埋蔵文化財センター	運営係	埋蔵文化財の収蔵・保管・展示等、教育普及
	保存分析係	埋蔵文化財の保存・分析

(2) 埋蔵文化財センターの職員（令和2年度）

所長 宮井 善朗	運営係長 中山 貴	文化財主事 板倉 有大 文化財主事 松尾 奈緒子	嘱託 佐々木 蘭貞 (文化財教育普及専門員)
	保存分析係長 上角 智希	文化財主事 服部 瑞輝	嘱託 藤崎 彩乃 (保存処理指導員)

2. 施設

当センターは福岡市博多区井相田2丁目1-94に所在し、敷地面積4,000㎡、鉄筋コンクリート造3階建（建築面積1,050㎡、延床面積1,992㎡）の規模で昭和57年2月に開館した。その後、昭和61年3月に収蔵庫を主とした増築（増築面積1,035㎡、増延床面積1,994㎡）を行った。さらに平成9年度から大規模な増築・改造を実施し、平成11年4月にリニューアルオープンの運びとなった。現在、敷地面積7,481㎡、建築面積3,987㎡、延床面積10,713㎡の施設規模である。

また、平成28年3月に取得した月隈収蔵庫（福岡市博多区月隈1丁目13-17）は、敷地面積24,974.68㎡、建築面積8,347.93㎡、延床面積8,639.47㎡である。

ホームページ（<https://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html>）には施設の概要のほか、前年度の事業実績、年度毎の保存処理資料の紹介、収蔵遺物、展示品、講座案内などを掲載している。



ホームページトップ

3. 令和2年度当初予算及び決算

(1) 歳入 (千円)

	計	国庫補助金	使用料 及び手数料	諸収入	市債	一般財源
当初予算	71,182	21,315	808	59	49,000	117,787
決算	43,368	16,512	713	142	26,000	92,149

(2) 歳出 (千円)

	計	管理運営費	事業費
当初予算	188,969	78,529	110,440
決算	135,517	74,413	61,104

4. 令和2年度入館者数

(1) 月別入館者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率 (%)	
日数	26	24	25	27	27	25	27	26	23	24	24	26	306		
個人	一般	7	71	132	193	160	149	196	176	177	175	181	204	1,821	88.3%
	小学生	0	2	16	9	11	3	4	6	3	1	8	3	66	3.2%
	中学生	0	2	0	2	2	1	1	2	2	0	2	1	15	0.7%
	高校生	0	0	0	2	0	0	0	3	1	0	0	0	6	0.3%
	大学生	0	0	2	2	73	4	1	14	13	0	3	3	115	5.6%
	その他	0	1	4	1	6	2	8	4	3	3	3	5	40	1.9%
	小計	0	5	22	16	92	10	14	29	22	4	16	12	242	11.7%
合計(a)	7	76	154	209	252	159	210	205	199	179	197	216	2,063	100.0%	
団体	一般	0	0	0	6	18	14	29	52	58	110	3	13	303	62.3%
	(団体数)	0	0	0	3	2	2	4	1	4	4	3	3	26	
	小学生	0	0	0	11	77	0	0	22	0	0	30	0	140	28.8%
	(団体数)	0	0	0	2	1	0	0	2	0	0	2	0	7	
	中学生	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8	1.6%
	(団体数)	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	(団体数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大学生	0	0	0	1	0	0	8	8	5	11	0	2	35	7.2%
	(団体数)	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0	1	6	
合計(b)	0	0	0	23	98	14	37	82	63	121	33	15	486	100.0%	
(団体数計)	0	0	0	7	4	2	5	4	5	5	5	4	41		
総計(a+b)	7	76	154	232	350	173	247	287	262	300	230	231	2,549		
1日平均(人)	0	3	6	9	13	7	9	11	11	13	10	9	8		
出前授業(人)	0	0	411	423	0	465	472	302	119	0	0	0	2,192		
(学校数)	0	0	5	4	0	6	5	3	1	0	0	0	24		

※ 4月4日から5月17日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

(2) 個人入館者年齢区分

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率 (%)
0～19才	0	6	20	15	20	4	13	15	11	4	14	11	133	6.4%
20～29才	0	0	8	11	86	18	15	20	27	14	6	14	219	10.6%
30～39才	1	16	19	25	32	25	18	24	23	29	17	29	258	12.5%
40～49才	0	26	42	58	33	39	52	38	48	45	60	52	493	23.9%
50～59才	4	9	37	45	42	33	57	55	53	50	56	66	507	24.6%
60～69才	1	15	21	35	28	18	44	38	23	25	31	30	309	15.0%
70～79才	1	4	7	19	11	20	10	14	13	9	11	13	132	6.4%
80才以上	0	0	0	1	0	2	1	1	1	3	2	1	12	0.6%
計	7	76	154	209	252	159	210	205	199	179	197	216	2,063	100.0%

(3) 個人入館者住所区分

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率 (%)
福岡市	7	68	114	162	187	101	141	130	133	142	140	151	1,476	71.5%
福岡県内	0	6	31	39	41	33	35	36	34	24	39	39	357	17.3%
県外	0	2	9	8	24	25	34	38	32	12	18	26	228	11.1%
国外	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0.1%
計	7	76	154	209	252	159	210	205	199	179	197	216	2,063	100.0%

(4) 過去5年間の月別入館者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
平成28年度	349	582	551	395	572	458	512	447	389	318	386	355	5,314
平成29年度	303	329	710	551	589	488	363	396	382	423	451	515	5,500
平成30年度	225	704	535	428	575	424	519	455	401	301	337	421	5,325
平成31・令和元年度	205	639	578	479	401	382	462	351	427	292	231	100	4,547
令和2年度	7	76	154	232	350	173	247	287	262	300	230	231	2,549

開館以降累計入館者数(人) 397,281

II 令和2年度の活動

1. 市内出土国指定重要文化財の公開・活用

近年、福岡市から出土した2件の考古資料が相次いで国重要文化財の指定を受けた。平成29年9月15日指定の福岡県博多遺跡群出土品計2,138点と、令和元年7月23日指定の金錯銘大刀（通称：庚寅銘大刀）一口・附287点である。これらの重要遺物を市民に広く周知するために、公開・活用事業を実施している。

(1) 博多遺跡群出土資料のARアプリ製作

博多遺跡群第124次調査では、16世紀中頃の輸入陶磁器等約130点がまとまって出土した。戦火を避けるために商人が地下蔵に隠していたものであろう。当時の食器構成を知る重要な手がかりであるとともに、大量の陶磁器がまとまって埋められていたという出土状態に大きな意義がある。国指定品となる前は、陶磁器を逆さにして重ねて並べたりと出土状況そのままを再現して展示していた。しかし、重文指定に伴い、保管方法を厳重にする必要が生じ、既存の展示の仕方はできなくなった。そのため、令和元年度にこれらの陶磁器の出土状態と個々の器の形態の3次元データを計測・記録化した。令和2年度は、そのデータをもとに、陶磁器の出土状況をAR機能で再現したり、個々の陶磁器のデジタル写真を画面上で回転させながらいろんな角度から観察したりできるアプリを製作した。



アプリの題材となった埋納遺構



AR画面



使用状況

(2) 元岡G6号墳出土の銅鈴レプリカおよび復元品の製作

令和2年度は、庚寅銘大刀と同じ元岡古墳群G6号墳から出土した青銅製鈴のレプリカと復元品を製作した。この銅鈴は全長11.4cm、幅7.5cmの大型品で錆びても緑色になっている。同じ墓から馬具も一緒に出土したので、馬に装飾としてつけた馬鈴と推測される。

レプリカはシリコン樹脂と石膏で型取りし、エポキシ樹脂を主剤とする材料で、寸分たがわぬ樹脂製の複製をつくり、それにアクリル塗料で彩色した。復元品は、型取り作業でできた雌型をもとに鋳造鋳型を製作し、そこに銅78%、錫17%、鉛5%の合金を流し込んで製作した。

成果品は令和3年度の企画展で展示中である。



(左から)
銅鈴のレプリカ・実物・復元品

2. 資料の収蔵・整理

(1) 収蔵方針

福岡市では、文化財行政を文化財活用部が主管し、記録保存目的の発掘調査を埋蔵文化財課が、保存目的の発掘調査を史跡整備活用課がそれぞれ担当している（本書 I-1 参照）。福岡市埋蔵文化財センター（以下、「センター」という）では、昭和 60（1985）年に策定した「埋蔵文化財資料の収蔵整理要項」（『福岡市埋蔵文化財センター年報』第 5 号所収）に従い、発掘調査担当課が整理・報告を行った出土遺物、記録類の受入・収蔵を行っている。国民の協力を得て実施される発掘調査の成果は、速やかに一般公開され、広く市民や研究者に利用されなければならない。センターでは、収蔵整理要項を実情にあわせて改訂しつつ、発掘調査成果が円滑に一般公開できるよう発掘調査担当課と緊密な連携を図っている。

(2) 令和 2 年度の本収蔵

令和 2 年度の本収蔵は、埋蔵文化財課および史跡整備活用課など発掘調査担当課（埋文課と区分）から搬入・収蔵されたもの 28 件、センターで収蔵したもの 19 件のあわせて 47 件（新規収蔵 22 件、追加収蔵 24 件、寄贈等 1 件）である。遺物量が多かったものとしては、元岡・桑原遺跡群 42・49・51・52・55 次の本収蔵が完了し、コンテナ 9,324 箱、甕棺 50 個が登録された。デジタル写真の収蔵数は前年度比 279%、前々年度比 146% と増加

傾向にあり、デジタル写真への移行が進んでいる。デジタル写真については、カメラ機種を選定から、デジタルデータの管理、編集、収蔵、保管に至るまで、検討すべき課題が残されている。

令和 2 年度までにセンターに収蔵された資料は調査 2,147 件分（追加収蔵、寄贈受入まで含めた収蔵数は 2,938 件）で、これまでの調査総数 2,701 件に対して、収蔵率は約 80% である。引き続き、整理・報告作業を行う発掘調査担当課と収蔵作業について連携を図るとともに、センターにおいても仮収蔵資料の整理・収蔵作業を進めていく必要がある。

(3) 収蔵環境の整備

収蔵資料のうち土器・石器などは一般収蔵庫に、金属器・木製品・自然遺物・玉類は木器特別収蔵庫に収納している。また、写真類は第一記録類収蔵庫に、図面類は第二記録類収蔵庫および本館 3 階特別収蔵庫に、写真カードは第一資料整理室に収蔵している。

一般収蔵庫は、収蔵量が限界に達しており、平成 27 年度に月隈政府倉庫を新たな収蔵庫として取得した（月隈収蔵庫）。令和 2 年度は、月隈収蔵庫に 114 連（棚 10 段）の鋼製収蔵棚を設置した。引き続き月隈収蔵庫への鋼製収蔵棚の設置を進めて、収蔵環境を整備していく。

本収蔵数一覧（2016～2020 年度）

年度	収蔵区分	新規遺跡数	追加遺跡数	寄贈・採集受入件数	登録遺物点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			デジタル写真 (枚)	写真カード (枚)	図面 (枚)	
						甕棺 (個)	コンテナ (箱)	35mm (本)	6×7 (枚)	4×5 (枚)	35mm (枚)	6×7 (枚)	4×5 (枚)			遺構	遺物
2016	埋文課	68	8	0	43,851	122	2,696	686	9,477	132	15,869	4,130	176	7,173	7,045	3,304	3,218
	センター	5	73	2	1,825	-2	213	99	768	0	798	598	0	8	581	114	67
	年度合計	73	81	2	45,676	120	2,909	785	10,245	132	16,667	4,728	176	7,181	7,626	3,418	3,285
2017	埋文課	33	18	0	20,589	1	1,919	207	2,262	12	5,124	1,333	12	5,635	1,529	1,358	1,764
	センター	5	34	2	1,946	2	163	131	1,166	0	2,062	367	7	0	649	320	496
	年度合計	38	52	2	22,535	3	2,082	338	3,428	12	7,186	1,700	19	5,635	2,178	1,678	2,260
2018	埋文課	37	0	0	17,893	7	1,783	285	2,643	0	6,407	2,347	0	10,664	1,787	966	1,705
	センター	1	48	5	6,159	11	118	3	31	0	193	6	0	218	142	29	88
	年度合計	38	48	5	24,052	18	1,901	288	2,674	0	6,600	2,353	0	10,882	1,929	995	1,793
2019	埋文課	38	13	0	12,787	16	1,647	97	1,357	0	2,762	1,092	33	5,672	820	714	780
	センター	3	6	3	4,671	1	374	87	679	0	1,891	71	0	0	446	383	297
	年度合計	41	19	3	17,458	17	2,021	184	2,036	0	4,653	1,163	33	5,672	1,266	1,097	1,077
2020	埋文課	20	8	0	32,196	73	10,352	217	2,525	60	3,361	1,686	24	15,845	1,648	1,196	4,527
	センター	2	16	1	3,038	0	206	19	148	0	270	23	0	0	158	111	103
	年度合計	22	24	1	35,234	73	10,558	236	2,673	60	3,631	1,709	24	15,845	1,806	1,307	4,630
計	埋文課	1,802	138	0	1,227,436	1,428	121,134	20,159	314,023	3,938	357,155	119,626	2,262	76,984	190,186	85,099	94,782
	センター	345	587	66	169,908	458	18,905	5,999	51,151	3,654	78,409	10,000	582	2,566	35,815	14,174	14,680
	総計	2,147	725	66	1,397,344	1,886	140,039	26,158	365,174	7,592	435,564	129,626	2,844	79,550	226,001	99,273	109,462

※計は 1986～2020 年度

3. 教育・普及

埋蔵文化財センターでは、収蔵品を公開することによって市民に地域の歴史の魅力を伝え、①埋蔵文化財の関心を高め、②埋蔵文化財の保護に対する理解を深めてもらうことを目的に、教育普及事業を行っている。

(1) 展示

①常設展示

当センターでは「埋蔵文化財の保存・保護」と「弥生以来の海外交易の拠点都市」を展示の主要なテーマとし、それぞれ2つの常設展示を公開している。

第1展示室では、埋蔵文化財の発掘調査から遺物・記録類が収蔵、管理・活用されるまでの一連の流れと、木器・金属器等の科学的保存処理の成果について、解説している。

第2展示室では、江戸時代に鎖国されるまで日本の玄関口であり続けた本市の特徴をとりあげ、最も脚光を浴びた弥生時代と国内最大の国際貿易港であった中世に焦点をあて、前者を「奴国の時代」、後者を「中世都市博多」と題して紹介している。

(各展示室の展示項目については、『福岡市埋蔵文化財センター年報』第38号を参照。)

②企画展示

第3展示室において、年度前半に「疫病に負けるな！-福岡の場合-」、後半に「-新発見速報展-発掘されたふくおか2020」と題するテーマ展示を行ったほか、令和元年度に行った木器、金属器などの保存処理成果を紹介する展示を実施した。

○企画展示①

「疫病に負けるな！-福岡の場合-」

令和2年6月30日(火)～10月18日(日)



企画展示① 実施状況

○企画展示②

「-新発見速報展-発掘されたふくおか2020」

令和2年10月27日(火)

～令和3年2月14日(日)



企画展示② 実施状況

○速報講座関連展示

「甦る出土遺物-令和元年度保存処理成果-」展

令和3年2月23日(火)～5月9日(日)



速報講座関連展示 実施状況

③プチ展示

平成28年度より、エントランスホールに展示ケースを設置し、学芸員おすすめの逸品を展示している。令和2年度は以下の資料を公開した。

[令和2年度プチ展示資料一覧]

展示開始日	展示品	出土遺跡
令和2年6月23日	三稜尖頭器	香椎A遺跡
令和2年11月7日	勾玉・ガラス製丸玉	神松寺遺跡(神松寺御陵古墳)
令和3年1月26日	軒丸瓦(百済系単弁瓦)	井尻廃寺



井尻廃寺出土軒丸瓦



神松寺御陵古墳出土
勾玉・ガラス製丸玉

④館外展示

○常設の館外展示

市民が身近に出土品と触れ合うことの間を提供することを目的とし、学校や公民館等の公共施設や、発掘調査を実施した民間施設等において、資料の展示に取り組んでいる。

各施設のエントランス等に展示ケースを設置し、周辺の遺跡から出土した出土品を中心に解説を付して公開している。

[設置場所]

博多駅地下連絡通路・教育センター・文化センター高取・西南学院大学・馬出小学校・三苦小学校・西都崎小学校・博多小学校・板付北小学校・野多目小学校・城南小学校・賀茂小学校・城原小学校・和白図書館・老司公民館・四箇田公民館・今津公民館・西都公民館・金武公民館・戸切人権のまちづくり館等



賀茂小学校 館外展示

○短期の館外展示

主催者からの申し込み等に応じて、校区の文化祭や市内で開催される各種イベント等に臨時でブースを設け、校区やイベントのテーマにかかわりの深い出土品を展示している。

令和2年度は、短期の館外展示は行っていない。

(2) 収蔵資料の利用

①収蔵資料の貸出

収蔵している出土品や発掘調査の記録類について、小中学校や公民館、国内外の博物館や研究機関、出版社等のメディア等に対し、貸出しを行っている。収蔵資料の貸出しは、福岡市埋蔵文化財センター条例第5条第1項に定めるとおり、許可手続きを経て行う。

内容	件数	点数		
		考古資料 (出土品)	記録類ほか (写真等)	合計
短期貸出	138	917	311	1,228
長期貸出 (借用期間1年以上)	49	2,750	33	2,783

②収蔵資料の閲覧

収蔵している出土品や発掘調査の記録類について、市民や考古学を学ぶ学生、研究者等の要望に応じて、閲覧に供している。また、メディア等の撮影の依頼にも応じている。

内容	件数	点数
考古資料(出土品)	93	10,137
記録類ほか(写真等)	3	141
合計	96	10,278



メディアによる取材に対する収蔵品の提供

③関連図書の収蔵と閲覧

令和2年度に新たに受け入れた図書は下記の通り。蔵書数は合計105,255冊となった。

令和2年度 新規受け入れ図書(冊)	一般	雑誌	合計
購入	0	108	108
受贈	1,944	64	2,008
合計	1,944	172	2,116

(3) 施設の利用

① 講座室の利用

申し込みに応じて、研究会等の会場として一般に提供している。

内容	件数	利用者数
職員採用試験	1	35
研究会	0	0
会議	2	10
大学講義	3	21
合計	6	66

② 団体見学ほか

申し込みに応じて、文化財を専門とする職員が解説を行いながら、展示室、収蔵庫などのバックヤードを案内している。

団体見学主体	団体数	利用者数
学校	15	183
そのほか	26	303
合計	41	486

(4) 公開講座

① 考古学講座

考古学講座は、福岡市内の遺跡や出土品に関するテーマを1つ定め、研究の最前線で活躍される考古学者を講師に迎え、市民とともにより深く学ぶことを趣旨とするもの。

回	開催日・講演題	講師名	受講者数
1	令和2年5月23日(土) 科学の目でみる文化財	比佐 陽一郎氏 (福岡市文化財活用部)	中止
2	令和2年6月20日(土) 土器圧痕昆虫が語る縄文人のなりわいとくらし	小畑 弘己氏 (熊本大学)	中止
3	令和2年7月18日(土) 赤色顔料からわかる弥生時代・古墳時代の葬送儀礼 一顕微鏡で見る朱とベンガラが物語ること一	本田 光子氏 (放送大学・九州国立博物館)	中止
4	令和2年9月5日(土) 土器のかけらから解き明かす いにしへの食と調理	庄田 慎矢氏 (奈良文化財研究所)	中止
5	令和2年10月10日(土) 粘土からわかる弥生土器の生産と移動	石田 智子氏 (鹿児島大学)	中止
6	令和2年11月14日(土) 石材からわかる九州の縄文時代・弥生時代の玉文化	大坪 志子氏 (熊本大学)	中止
7	令和2年12月19日(土) るつぽからさぐる中世博多の金属生産	杵名 貴彦氏 (国立科学博物館)	中止
8	令和3年1月23日(土) 金属製品からわかるアイヌ民族の金属利用	大江 克己氏 (国立アイヌ民族博物館)	中止
9	令和3年2月20日(土) 考古学と科学のこれから ーデジタル技術が文化財の記録保存と活用に果たす役割ー	村上 浩明氏 (株式会社とっぺん)	中止
合計			0

令和2年度のテーマは「第二の発掘－考古学×自然科学＝新発見!?!-」を年間テーマとして計9回を開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて中止した。

② 速報講座

感染症予防対策を講じた上で発掘調査速報講座を3回開催し、計167名が受講した。

当センターにおける出土遺物の保存処理の成果の紹介とその年度における市内の発掘調査の報告は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

回	開催日・講演題	講師名	受講者数
1	令和2年11月28日(土) 古代官道を掘る ー名子遺跡調査の成果よりー	神 啓崇氏 (福岡市文化財活用部)	午前28名 午後24名
2	令和2年12月19日(土) 謎の飛鳥時代の瓦群 ー那珂遺跡群の調査成果よりー	中尾 祐太氏 (福岡市文化財活用部)	午前22名 午後24名
3	令和3年1月16日(土) 青銅の武器と弥生人 ー那珂遺跡群の調査成果よりー	常松 幹雄氏 (福岡市文化財活用部)	午前32名 午後37名
4	令和3年3月13日(土) 甕の出土遺物 発掘調査総まとめ	福岡市文化財活用部職員	中止
合計			167



第1回速報講座 古代官道を掘る
ー名子遺跡調査の成果よりー 実施状況

(5) 出前授業・出前講座

郷土の歴史に対する興味・関心を喚起し、郷土愛の醸成に資することを目的とし、文化財を専門とする職員を事前に申し込みのあった小学校や公民館等に派遣し、その校区の遺跡に関する授業・講座を行っている。事前各プログラムでは、体験学習の前に職員が学校の周辺の遺跡について解説を行い、児童や市民が出土品に直接触れて歴史を身近に感じる時間を設けている。

①出前授業（小学校）

平成17年度より開始した。令和2年度は下記のとおり6つのプログラムを用意し、合計24校、2192名の児童に対して授業を行った。

	授業名（時間）	授業概要	校数 (授業数)	人数
1	大昔のくらし① 「火起こし」 (90分)	道具を用いて2種類の火起こしを体験。火が生活に与えた影響と発火技術の変遷を学習する。	1 (3)	109
2	大昔のくらし② 「祈りとまじない」 (90分)	勾玉を製作体験。祈りの品を用いて昔の人々の生活と想いを学習する。	7 (17)	582
3	大陸とのまじわり ① 「卑弥呼と鏡」 (90分)	低温溶解金属の鏡を鑄造製作体験。金属加工等の外来技術をととして大陸とのつながりを学習する。	10 (31)	913
4	大陸とのまじわり ② 「木簡を書く」 (90分)	木簡を製作体験。鴻臚館跡の出土品に触れ、奈良時代の役人の生活や古代におけるアジアとのつながりを学習する。	1 (4)	122
5	職業体験 「チャレンジ考古学」 (45分)	模型を用いた土器の復元作業や拓本作業を体験。将来の就業に向けた動機付けとして、学芸員業務の一端を学習する。	3 (8)	281
6	郷土の歴史 (45分)	校区内遺跡からの出土品に直接触れて、強郷土の歴史を身近に体験させる。	2 (6)	185
		合計	24 (69)	2,192



「郷土の歴史」授業風景

②出前講座（公民館等）

平成24年度より開始した。令和2年度は下記のとおり2つのプログラムを用意し、合計5つの公民館・図書館で、77名の市民の参加を得た。

	授業名（時間）	施設数 (授業数)	人数
1	考古学のこぼれ話 ーみなさまのまちの遺跡についてー	3	39
2	遺跡のおはなしと勾玉づくり	2	38
	合計	5	77

(6) 教育活動

①博物館実習

令和2年度も、市内外の大学からの依頼に応じて、引き続き博物館学芸員（補）資格取得を目的とした実習を実施した。

博物館実習は、学芸員の実務や館の運営を体験することによって学芸員としての心構えを養成することを目的としている。当センターの博物館実習の特徴は、これらの通常業務に加えて、実習期間中に企画展示に取り組むことにある。実習生は、職員の助言を受けながら、グループごとに展示計画を立案し、議論しながら展示の準備を進める。実習の最終段階では実際に展示作業を行い、ギャラリートークも体験する。

令和2年度の実習生は、早良区の文化センター高取にて、高取焼をテーマに「たかとりっく - 知ってほしい伝統の高取焼 - 」と題する展示を行った。

[実習期間] 令和2年8月18日～8月29日

[実習生] 7名（福岡大学人文学部歴史学科、筑紫女学園大学文学部、佐賀大学芸術地域デザイン学部）

実施日	実習内容
8月18日（火）	オリエンテーション
	センター施設見学
	展示計画Ⅰ
	文化財行政と埋蔵文化財センターの役割
8月19日（水）	遺物の収蔵・整理
	教育普及・公開・活用
	収蔵・活用（実習）
	展示計画Ⅱ（館外施設見学）
8月20日（木）	遺物の保存処理①（実習）
	展示計画Ⅲ
8月21日（金）	展示計画Ⅳ
8月22日（土）	収蔵庫見学ツアー準備
8月22日（土）	収蔵庫見学ツアー
8月25日（火）	遺物の保存処理②（実習）
	展示計画Ⅴ
8月26日（水）	展示計画Ⅵ
8月27日（木）	展示計画Ⅶ
8月28日（金）	展示準備
	展示作業
8月29日（土）	実習を振り返って
	SNS等での情報発信
	レポート作成



展示計画実習



実習生による展示作業
[令和2年度博物館実習実施状況]



収蔵庫ツアー実施状況

(8) 刊行物

○『福岡市埋蔵文化財センター年報』第39号令和元（2019）年度 A4判 20頁、令和3年1月29日発行、文化財関係機関・図書館等に配布。

② 職場体験

中学生に将来の職業や進路に対する関心や理解を深めてもらうことを目的として、福岡市教育委員会からの依頼により、当センターの業務を体験する職場体験を実施している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施していない。

(7) イベント

① 収蔵庫ツアー

平成29年度より夏休み期間中に実施している。収蔵庫を探検し、歴史クイズに答えながらゴールを目指すというイベント。普段は事前予約がなければ公開していない収蔵庫の中の文化財に実際に触れることもでき、福岡市の歴史を体感してもらった。

[実施日] 令和2年8月22日(土)

[実施時間] 10:00～12:30・13:30～15:55

[受講者数] 合計23組65名

4. 保存処理

(1) はじめに

当センターでは昭和 57 年の開館以来、市内出土埋蔵文化財のうち腐蝕や劣化により資料としての取り扱いや、通常の保管が困難なもの（主に対象となるのは木製品と金属製品）について、保存のための科学的処置を講じている。当初は直接的な処置のための限られた機器で作業を行ってきたが、平成 11 年度の増築により事前調査機器や大型の処理装置などが導入され、幅広い資料に対応が可能となっている。増築前後の施設の内容については、年報の第 15 号（増築前）、18 号（増築後）をそれぞれ参照されたい。

(2) 有機物（出土木製品）

1) 保存処理の概要

令和 2 年度処理を行ったのは 8 遺跡 138 点で、その内容は一覧表の通りである。この内、元岡・桑原 18 次 19 点、20 次 90 点、今宿五郎江 11 次 4 点、那珂 149 次 7 点の計 120 点は国庫補助事業によるものである。

処理方法は資料の大きさ、構造、樹種、劣化状態などの諸条件を基に、主に次の 3 つの方法から選択している。一つは、開館以来中心的に用いている、合成樹脂 PEG-4000 を用いた「PEG 含浸法」、もう一つは人工糖類トレハロースを用いた「トレハロース含浸法」、三つ目は大型の凍結乾燥機を用いた「真空凍結乾燥法」である。

これらの方法にはそれぞれ一長一短あるが、現状では PEG 含浸法を中心的に行い、他の方法については PEG 含浸法で処理が困難とされる墨書を有する資料、漆器、広葉樹芯持ち材、大型の木製品などに対しての適用を想定している。この内、トレハロース含浸法は、従来行われてきたラクチトール含浸法に代わり、新たに開発され普及しつつある処理法である。当センターにおいてはノウハウが十分に蓄積されておらず、先進的に行っている機関からの指導を受けながら試験的な運用を行っている。

2) 保存処理の工程

各処理法による作業は、資料の洗浄、処理前写真の撮影、処理カードの作成といった共通作業の後、次のような工程で行っている。

● PEG 含浸法

- ①資料の梱包・・・不織布で梱包し、メッシュ入りコンテナ等に納める。
- ②PEG 含浸・・・専用の含浸装置に資料を入れ、注水、60℃に加熱する。温度が安定したら初期濃度 20% より置換開始。濃度は 1 週間に一度溶液を採取して、溶液の重量と水分蒸発後の重量比較により算出する。約 9 ヶ月で 100% まで濃度を上げる。
- ③遺物の取り上げ～洗浄、乾燥（PEG の固化）・・・溶液から取り出し後、温水で表面を洗浄し、自然乾燥。
- ④処理後の点検作業・・・変形、破損の有無を点検し、処理カードに記入。
- ⑤脱色及び表面処理・・・湯煎したアルコールによる表面洗浄。
- ⑥修復・・・エポキシ系接着剤による折損部の接合、エポキシ樹脂にマイクロバルーンを混入した材料による欠損の復元。

●トレハロース含浸法

- ①溶液の準備・・・ステンレス製の深型バットにトレハロースを水で溶解。初期濃度は 20～30% 程度。恒温乾燥機中に先述のバットを設置、資料を溶液に入れ、蓋をして溶液を加熱する。
- ②トレハロースの含浸置換・・・徐々に恒温乾燥機の温度を上げ、高濃度の溶液に資料を入れ替える。70℃での溶液の限界濃度（70% 程度）まで濃度を上昇させる。これら一連の含浸期間は資料の形状や材質によるが、概ね 4～8 週間程度である。
- ③結晶化・・・資料を溶液から取り出し、送風機によって常温の風を当てることで、糖の結晶化を図る。
- ④洗浄・・・表面に固着しているトレハロースの結

品を、スチーム洗浄機を用いて洗浄。

●真空凍結乾燥法

① PEG の含浸置換・・・注水した PEG 含浸装置中に資料を入れ、60℃に加熱。約6ヶ月かけて50%に濃度を上げる。

②遺物の取り上げ～洗浄・・・溶液から取り出し後、温水で表面洗浄。

③凍結乾燥処理・・・資料を真空凍結乾燥機に入れ、装置を作動。1ヶ月程度-40℃～-60℃で予備凍結させる。その後チャンバーを真空にして、水分の昇華を図る。

令和2年度は、真空凍結乾燥法による木製品の処理は行っていない。

なお、保存処理の完了した資料は、全て埋蔵文化財センターの特別収蔵庫に保管している。

3) 保存処理資料の紹介

令和2年度に保存処理を行った資料の一部を紹介する。

i . PEG 含浸処理資料

●元岡・桑原遺跡群20次出土木製品(写真1～2)

元岡・桑原遺跡群は九州大学伊都キャンパス造成に伴う埋蔵文化財調査によって発見された。第20次調査は遺跡全体の東側、北東方向に開口する谷部に位置する。西側丘陵上には中世山城の戸山城、東側丘陵上には4世紀末の前方後円墳である^{かなくそ}金屎古墳が存在する。

写真1は木錘。丸太材の中央を溝状に彫り出しており、溝に紐を巻付け使用したと考えられる。形状は溝の小さいものから、溝を大きくした鉄アレイ状のもの、くびれを強調した鼓形状や蝶ネクタイ状のものと様々である。渡辺誠氏は、民具資料との比較検討から、藁^{わら}や葦^{あし}、竹や麻糸などを「もじり編み」という手法で編む際に用いたものであると述べている(渡辺1981)。

写真2は^{かせ}栲。撚りのかかった糸を乾燥させるため、つむいだ糸を巻きとる道具と考えられる。写真2-左のように2つの部材をX字型に組み合わせて使用する。

ii . トレハロース含浸法処理資料

令和2年度は漆塗り製品について、トレハロース含浸法による保存処理を10点実施した。以下に処理を行った資料と作業工程について詳述する。処理にあたっては九州歴史資料館小林啓氏、福岡市文化財活用課比佐陽一郎氏のご指導・ご助言のもと埋蔵文化財センター保存処理指導員藤崎が行った。

●今宿五郎江遺跡出土木製品(写真3～5)

西区今宿西一丁目、東一丁目に所在する。平成14年度からの伊都土地地区画整理事業に伴う調査のひとつで、弥生時代後期には大規模な環濠集落が形成された。弥生時代後期のものとみられる環濠西側谷部を中心に多量の木製品が出土している。

写真3は11次調査地点で出土した漆塗り筒型容器の底板である。径7cmほどの大きさで表面には黒漆が塗られ、赤漆で円文が描かれている。裏面に漆は塗られておらず、嵌合部が良好な状態で残存する。

写真4、5は12次調査地点で出土した漆塗り筒型容器の破片である。内外面に黒漆が塗られ、外面には赤漆で直線文・鋸歯文・斜格子文が描かれている。特に直線文と鋸歯文を観察すると、3本線が1組の文様となっている。当時の技術の高さをうかがい知れる資料である。

●元岡・桑原遺跡群42次出土有文木製品(写真6)

元岡・桑原遺跡群第42次調査区は、庚寅銘太刀が出土した元岡G-6号墳のある第56次調査区から100m程南に位置する。詳細は年報35号を参照されたい。

復元径35cmの円盤状の木製品である。両面に円弧文と鋸歯文が組み合わせて彫られ、赤色顔料が塗られている。用途は不明だが、^{きぬがさ}翳や盾、何らかの標識と考えられる。

トレハロースはPEGに比べて分子量が小さく、より浸透しやすい。また、処理期間も短く済ませられ、資料への負担も少なくなる。よって、上述の特殊木製品に適用可能と考え、処理を実施した。

本資料は表面に付着した土汚れなどを取り除い

たあと、トレハロース溶液に漬け、含浸を開始した(写真7)。本来ならば前処理としてEDTA溶液に漬けこみ、木材中に含まれる鉄分を抜く過程が必要であるが、今回は漆や顔料に影響を及ぼす可能性を考慮して、この処理は行わなかった。

トレハロース溶液に浸漬したのち、各資料の重量測定を行った。重量の変化が安定したことを確認し、10%ずつ濃度を上昇させた。

また、20%時点では室温下で含浸したが、30%以降は恒温乾燥機にて加熱した。

漆器は高温の環境下では塗膜の剥離や損傷が生じる危険性があり、通常は温度55℃、溶解度により55%での含浸が上限とされる。その後はさらに高濃度の溶液にさっと漬けることで資料表面を固化するディッピングという方法が用いられる(伊藤・藤田・金原・今津2011、伊藤・藤田・今津2013)。

しかし、本資料は塗膜層が厚く遺存状態が良好であったため、最終含浸濃度70%、温度80℃まで上昇させ、ディッピングの作業は行わなかった。含浸後は溶液より資料を取り上げ、扇風機で風乾しながらトレハロースの結晶化を図った(写真8)。

トレハロース含浸処理法による保存処理については、今後も継続して行う予定である。

【参考文献】

伊藤幸司・藤田浩明・金原正子・今津節生 2011「トレハロース含浸処理法の実用化－漆製品への有効性について－」『日本文化財科学会第28回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会

伊藤幸司・藤田浩明・今津節生 2013「ラクチトールからトレハロースへ－糖類含浸法の新展開－」『考古学と自然科学』第65号 日本文化財科学会

伊藤幸司 2013「トレハロース含浸処理法による漆器保存のプロセス」『出土木漆器保存国際学術研究会論文集』出土木漆器保存国際学術研究会

加藤隆也編 2010『今宿五郎江8－今宿五郎江遺跡第12次調査報告－』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1066集 福岡市教育委員会

菅波正人編 2011『今宿五郎江9－今宿五郎江遺跡第13次調査報告－』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1109集 福岡市教育委員会

菅波正人 2017「Ⅱ第20次調査の報告」『元岡・桑原遺跡群28－第20次・第42次・第53次・第57次・第63次・第66次調査の報告－』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1328集 福岡市教育委員会

杉山富雄編 2011『今宿五郎江10－今宿五郎江遺跡第10次調査報告(2)－』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1110集 福岡市教育委員会

杉山富雄編 2014『今宿五郎江16－今宿五郎江遺跡第11次調査報告(2)－』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1221集 福岡市教育委員会

吉留秀敏編 2010『元岡・桑原遺跡群16－第18次調査の報告2』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1102集 福岡市教育委員会

米倉秀紀・常松幹雄・比嘉えりか編 2014『元岡・桑原遺跡群23－第18・第42次・第59次調査の報告』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1246集 福岡市教育委員会

米倉秀紀・山口譲治 2016「第18次調査の記録－5－」『元岡・桑原遺跡群27－第18・第60次・第64次調査の報告』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1302集 福岡市教育委員会

渡辺誠 1981「もじり編み用木製錘の考古資料について」『考古学雑誌』第66巻第4号 日本考古学会



写真1. 元岡・桑原遺跡群 20 次出土木錘



写真2. 元岡・桑原遺跡群 20 次出土杵



写真3. 今宿五郎江遺跡 11 次出土
漆塗り筒型容器底板



写真4. 今宿五郎江遺跡 12 次出土
漆塗り筒型容器破片



写真5. 今宿五郎江遺跡 12 次出土
漆塗り筒型容器文様拡大

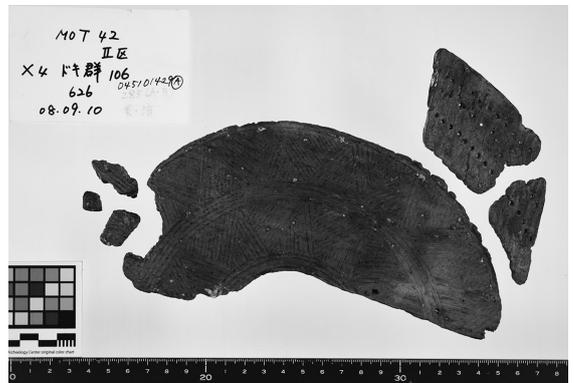


写真6. 元岡・桑原遺跡群 42 次出土
有文木製品



写真7. トレハロース溶液に漬浸



写真8. 取り上げ、風乾

令和2(2020)年度保存処理木製品一覧

処理No.	遺物No.	資料名	時代	市報	報告書 Fig	処理方法
今宿五郎江 10 次 (調査番号: 0420)						
36598	01740	漆蓋蓋 (円筒形容器)	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1110 集	Fig49-1740	トレハロース含浸法
今宿五郎江 11 次 (調査番号: 0531)						
36578	01968	梯子	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1221 集	未図化	PEG 含浸 (3 ㎖)
36579	02691	平楸	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1221 集	未図化	PEG 含浸 (3 ㎖)
36580	07473	梯子	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1221 集	未図化	PEG 含浸 (3 ㎖)
36581	12256	杵	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1221 集	未図化	PEG 含浸 (3 ㎖)
36600	01012	漆蓋蓋 (円筒形容器)	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1221 集	未図化	トレハロース含浸法
36601	01056	漆蓋蓋 (円筒形容器)	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1221 集	Fig65-1056	トレハロース含浸法
36602	02947	漆蓋蓋 (円筒形容器)	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1221 集	Fig65-2947	トレハロース含浸法
36603	04404	漆蓋蓋 (円筒形容器)	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1221 集	Fig65-4404	トレハロース含浸法
36604	04426	漆蓋蓋 (円筒形容器)	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1221 集	Fig65-4426	トレハロース含浸法
今宿五郎江 12 次 (調査番号: 0655)						
36605	02153	漆塗り 筒型容器	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1066 集	Fig86-w 153	トレハロース含浸法
今宿五郎江 13 次 (調査番号: 0718)						
36606	40073	細線文漆蓋 (円筒形容器)	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1109 集	Fig78-926	トレハロース含浸法
元岡・桑原 18 次 (調査番号: 9946)						
36469	80010	蓋	古代	第 1102 集	Fig101-8	PEG 含浸 (3 ㎖)
36470	80017	朝物未製品	古代	第 1102 集	Fig102-17	PEG 含浸 (3 ㎖)
36471	80021	あて具	古代	第 1102 集	Fig102-18	PEG 含浸 (3 ㎖)
36472	80024	平楸	古代	第 1102 集	Fig102-24	PEG 含浸 (3 ㎖)
36473	80025	蓋	古代	第 1102 集	Fig102-28	PEG 含浸 (3 ㎖)
36474	80026	蓋	古代	第 1102 集	Fig102-29	PEG 含浸 (3 ㎖)
36475	80027	杵	古代	第 1102 集	Fig102-19	PEG 含浸 (3 ㎖)
36476	80029	ネズミ返し	古代	第 1102 集	Fig102-26	PEG 含浸 (3 ㎖)
36477	81002	かけや	古代	第 1302 集	Fig14-2	PEG 含浸 (3 ㎖)
36478	81003	かけや	古代	第 1302 集	Fig14-3	PEG 含浸 (3 ㎖)
36479	81004	不明へら状製品	古代	第 1302 集	Fig14-4	PEG 含浸 (3 ㎖)
36480	81005	サラエ	古代	第 1302 集	Fig14-5	PEG 含浸 (3 ㎖)
36481	81008	不明棒状部材	古代	第 1302 集	Fig14-8	PEG 含浸 (3 ㎖)
36482	81009	不明棒状部材	古代	第 1302 集	Fig14-9	PEG 含浸 (3 ㎖)
36483	81015	不明杵状製品	古代	第 1302 集	Fig15-15	PEG 含浸 (3 ㎖)
36484	81017	蓋	古代	第 1302 集	Fig15-17	PEG 含浸 (3 ㎖)
36485	81022	下駄	古代	第 1302 集	Fig15-22	PEG 含浸 (3 ㎖)
36486	81029	不明部材	古代	第 1302 集	Fig15-29	PEG 含浸 (3 ㎖)
36487	81031	不明天板状	古代	第 1302 集	Fig16-31	PEG 含浸 (3 ㎖)
元岡・桑原 20 次 (調査番号: 0001)						
36488	20151	木鍾	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig2-14	PEG 含浸 (3 ㎖)
36489	20152	木鍾	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig2-15	PEG 含浸 (3 ㎖)
36490	20153	不明	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig2-16	PEG 含浸 (3 ㎖)
36491	20154	蓋	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig3-17	PEG 含浸 (3 ㎖)
36492	20156	蓋	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig3-19	PEG 含浸 (3 ㎖)
36493	20158	蓋	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig3-21	PEG 含浸 (3 ㎖)
36494	20167	蓋	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig3-30	PEG 含浸 (3 ㎖)
36495	20172	火鑽棒	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig4-35	PEG 含浸 (3 ㎖)
36496	20173	火鑽白	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig4-36	PEG 含浸 (3 ㎖)
36497	20174	火鑽白	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig4-37	PEG 含浸 (3 ㎖)
36498	20201	不明部材	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig6-64	PEG 含浸 (3 ㎖)
36499	20202	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig6-65	PEG 含浸 (3 ㎖)
36500	20203	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig6-66	PEG 含浸 (3 ㎖)
36501	20206	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig6-69	PEG 含浸 (3 ㎖)
36502	20207	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig6-70	PEG 含浸 (3 ㎖)
36503	20211	人形か	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig7-74	PEG 含浸 (3 ㎖)
36504	20212	人形か	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig7-75	PEG 含浸 (3 ㎖)
36505	20214	人形か	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig7-77	PEG 含浸 (3 ㎖)
36506	20215	人形か	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig7-78	PEG 含浸 (3 ㎖)
36507	20221	不明円盤状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig7-84	PEG 含浸 (3 ㎖)
36508	20223	柄	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig8-86	PEG 含浸 (3 ㎖)
36509	20227	横楯	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig8-90	PEG 含浸 (3 ㎖)
36510	20228	楯	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig8-91	PEG 含浸 (3 ㎖)
36511	20229	横楯	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig8-92	PEG 含浸 (3 ㎖)
36512	20230	楯	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig8-93	PEG 含浸 (3 ㎖)
36513	20233	木鍾	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig8-96	PEG 含浸 (3 ㎖)
36514	20234	木鍾	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig8-97	PEG 含浸 (3 ㎖)
36515	20235	糸巻具	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig8-98	PEG 含浸 (3 ㎖)
36516	20236	糸巻具	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig8-99	PEG 含浸 (3 ㎖)
36517	20237	糸巻具	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig8-100	PEG 含浸 (3 ㎖)
36518	20241	蓋	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig9-104	PEG 含浸 (3 ㎖)
36519	20243	蓋	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig9-106	PEG 含浸 (3 ㎖)
36520	20244	蓋	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig9-107	PEG 含浸 (3 ㎖)
36521	20246	蓋	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig9-109	PEG 含浸 (3 ㎖)
36522	20248	不明円盤状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig9-111	PEG 含浸 (3 ㎖)

36523	20257	弓	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig10-120	PEG 含浸 (3 ㎖)
36524	20258	弓	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig10-121	PEG 含浸 (3 ㎖)
36525	20259	弓	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig10-122	PEG 含浸 (3 ㎖)
36526	20260	ヤス	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig10-123	PEG 含浸 (3 ㎖)
36527	20261	火鑽白	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig10-124	PEG 含浸 (3 ㎖)
36528	20262	火鑽棒	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig10-125	PEG 含浸 (3 ㎖)
36529	20263	火鑽棒	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig10-126	PEG 含浸 (3 ㎖)
36530	20266	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig10-129	PEG 含浸 (3 ㎖)
36531	20267	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig10-130	PEG 含浸 (3 ㎖)
36532	20270	不明力ギ状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig11-133	PEG 含浸 (3 ㎖)
36533	20285	接合部材	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig12-148	PEG 含浸 (3 ㎖)
36534	20292	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig13-155	PEG 含浸 (3 ㎖)
36535	20294	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig13-157	PEG 含浸 (3 ㎖)
36536	20295	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig13-158	PEG 含浸 (3 ㎖)
36537	20300	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig13-163	PEG 含浸 (3 ㎖)
36538	20304	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig13-167	PEG 含浸 (3 ㎖)
36539	20309	不明部材	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig14-172	PEG 含浸 (3 ㎖)
36540	20315	人形か	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig14-178	PEG 含浸 (3 ㎖)
36541	20316	人形か	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig14-179	PEG 含浸 (3 ㎖)
36542	20317	人形か	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig14-180	PEG 含浸 (3 ㎖)
36543	20318	人形か	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig14-181	PEG 含浸 (3 ㎖)
36544	20321	船形製品	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig15-184	PEG 含浸 (3 ㎖)
36545	20322	船形製品	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig15-185	PEG 含浸 (3 ㎖)
36546	20324	船形製品	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig15-187	PEG 含浸 (3 ㎖)
36547	20327	蓋	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig15-190	PEG 含浸 (3 ㎖)
36548	20332	又楯	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig16-195	PEG 含浸 (3 ㎖)
36549	20342	横楯	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig16-205	PEG 含浸 (3 ㎖)
36550	20343	楯	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig16-206	PEG 含浸 (3 ㎖)
36551	20345	木鍾	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig16-208	PEG 含浸 (3 ㎖)
36552	20346	木鍾	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig16-209	PEG 含浸 (3 ㎖)
36553	20347	ヤス	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig17-210	PEG 含浸 (3 ㎖)
36554	20348	ヤス	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig17-211	PEG 含浸 (3 ㎖)
36555	20352	蓋	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig17-215	PEG 含浸 (3 ㎖)
36556	20354	不明棒状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig18-217	PEG 含浸 (3 ㎖)
36557	20358	不明棒状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig18-221	PEG 含浸 (3 ㎖)
36558	20359	不明棒状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig18-222	PEG 含浸 (3 ㎖)
36559	20363	ヤス	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig18-226	PEG 含浸 (3 ㎖)
36560	20364	不明棒状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig18-227	PEG 含浸 (3 ㎖)
36561	20365	不明部材	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig18-228	PEG 含浸 (3 ㎖)
36562	20367	板状 (鏝か)	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig18-230	PEG 含浸 (3 ㎖)
36563	20369	不明部材	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig19-232	PEG 含浸 (3 ㎖)
36564	20373	不明部材	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig19-236	PEG 含浸 (3 ㎖)
36565	20375	不明	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig19-238	PEG 含浸 (3 ㎖)
36566	20376	不明	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig19-239	PEG 含浸 (3 ㎖)
36567	20377	不明部材	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig20-240	PEG 含浸 (3 ㎖)
36568	20378	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig20-241	PEG 含浸 (3 ㎖)
36569	20379	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig20-242	PEG 含浸 (3 ㎖)
36570	20380	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig20-243	PEG 含浸 (3 ㎖)
36571	20383	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig20-246	PEG 含浸 (3 ㎖)
36572	20384	ネズミ返し	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig20-247	PEG 含浸 (3 ㎖)
36573	20386	不明板状	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig21-249	PEG 含浸 (3 ㎖)
36574	20387	杵	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig21-250	PEG 含浸 (3 ㎖)
36575	20388	白	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig21-251	PEG 含浸 (3 ㎖)
36576	20389	木鍾	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig21-252	PEG 含浸 (3 ㎖)
36597	20391	漆蓋蓋 (円筒形容器)	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig21-255	トレハロース含浸法
36577	20402	木鍾	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig21-253	PEG 含浸 (3 ㎖)
36589	20145	不明 (握み鎌か)	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig2-8	PEG 含浸 (3 ㎖)
36590	20146	不明 (握み鎌か)	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig2-9	PEG 含浸 (3 ㎖)
36591	20183	不明	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig2-10	PEG 含浸 (3 ㎖)
36592	20204	不明部材	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig6-67	PEG 含浸 (3 ㎖)
36593	20217	不明人形	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig7-80	PEG 含浸 (3 ㎖)
36594	20340	握み鎌	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig16-203	PEG 含浸 (3 ㎖)
36595	20349	蓋か	古墳時代~古代	第 1328 集	Fig17-212	PEG 含浸 (3 ㎖)

元岡・桑原 42 次 (調査番号: 0451)

36596	01340	ジョッキ型容器	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1246 集	Fig36-147	自家製・アルコール洗浄
36599	01429	有文木製品 (鬘)	弥生時代後期~古墳時代前期	第 1246 集	Fig66-371	トレハロース含浸法

那珂 149 次 (調査

(3) 金属製品

1) 保存処理の概要と工程

本年度に木製品以外で何らかの処理を行った資料は、12 遺跡計 229 点である。

内訳は鉄、銅・青銅などの金属製品 228 点、ガラス 1 点である。

①事前調査

出土した金属遺物のほとんどは土、錆に覆われている。肉眼だと遺物表面の状態を観察することはできるが、内部構造まで見極めることは難しい。そのため、X 線透過撮影装置や蛍光 X 線分析装置などの分析機器を用いることによって、遺物の形状・錆の進行状況・材質などを把握している。

②クリーニング

事前調査で得られた結果をもとに、遺物の形状をよりわかりやすくするために、不必要な土や錆を手作業で除去する。

鉄製品は硬く分厚い錆に覆われているため、グラインダーやエアブラシなどを使用し錆層を削っていく。銅・青銅製品は表面の錆層が薄く、遺物本来の形状が保たれているものが多い。そのため表面に付着した土をアルコールで軟らかくし、筆やメスなどで慎重に取り除くにとどめる。

③安定化処置

鉄・銅製品中には塩化物イオンなどの塩類が含まれており、腐食を促進させる大きな要因となっている。これら除去し腐食の進行を抑制することを目的とする。鉄製品の場合、メタルが残存している資料にはセスキ炭酸ナトリウムの水溶液に浸漬し、塩類を溶出させる方法をとっている。銅製品に対しては、アルコールとベンゾトリアゾール (BTA) の混合液に含浸させることで、塩類の不活性化と資料の安定化をはかっている。

④樹脂含浸

金属器の多くは、内部に亀裂や空隙ができており、物理的に脆弱な状態である。そのため、遺物にアクリル樹脂を含浸させることで強化と保護膜の形成を施す。

塗膜の厚さを考慮し、鉄器にはパラロイド NAD-10、銅製品にはパラロイド B-72 と使い分けていたが、諸事情により現在はパラロイド B-72 のみを使用している。

⑤修復

破片を接合し、本来の形状に戻す。

使用する接着剤は、強度を要するものはエポキシ系、特に要さないものに対してはセルロース系と使い分けている。

以上が処理の大まかな流れであるが、保存処理を行ったとしても、それはあくまで延命治療であり、環境の変化によって再び腐食が進行するおそれがある。

そのため、当センターでは、金属製品は温湿度が管理され安定した環境下にある特別収蔵庫内にて保管している。

また、資料によっては、酸素を透過しない特殊なフィルム袋に資料と脱酸素剤を入れてパックする方法 (三菱ガス化学: RP システム) により保管する。

2) 保存処理資料の紹介

令和 2 年度処理資料の中から、次の 3 点について紹介する。

●博多遺跡群第 203 次調査出土

①無茎有孔鉄鏃 (写真 9、10)

長さ 10.0cm、身巾 2.6cm の大型品である。処理前は表面が土に覆われていたため判別できなかったが、X 線透過撮影を行ったところ、中央からやや切先よりの箇所¹に 2 孔、刃部に沿って径 1.0mm 未満の孔が多数あることを確認した。根挟みなどの有機物は残存していなかった。

②連結ガラス玉 (写真 11、12)

写真 11、12 右下資料である。処理前は土や鉄錆で覆われており、肉眼では資料の判別がつかなかった。X 線透過撮影で観察した際は現代のボールチェーンと見ていたが、クリーニングを行ったところ、ガラス玉であることがわかった。

径 3～4mm ほどの青色ガラス玉が 4 つ、金属棒で差し連ねてある。金属棒の材質は鉄か。ガラス玉の製作過程を示す、貴重な資料²であると言える。

●博多遺跡群第 235 次調査出土鑷子状鉄製品 (写真 13)

処理前はバラバラの状態であったが、破片を接合すると、長さ 14cm ほどの鑷子状に復元することができた。

【参考文献】

星野恵・井上繭子・加藤良彦・大森真衣子・服部瑞輝・久住猛雄・比佐陽一郎・屋山洋編
 2021『博多 170 - 博多遺跡群第 203 次調査報告 -』
 福岡市埋蔵文化財調査報告書第 1405 集<第 2 分冊><第 4 分冊>
 福岡市教育委員会

(4) 分析機器について

当センターでは各種の分析装置を導入し、保存処理にかかる事前調査や自然科学的分析・研究を実施している。主な装置は以下の通り。

分析装置	機種
透過X線分析装置	エクスロン社製 MG226/2.25
蛍光X線分析装置	EDAX 社製 Orbis システム
蛍光X回折装置	BRUKER 社製 D8Discover
走査電子顕微鏡	日本 FEI 社製 Quanta250FEG
フーリエ変換赤外分光装置	BRUKER 社製 ALPHA システム
デジタルマイクロスコープ	HiROX 社製 KH-8700
赤外線カメラ	Orca Flush4.0、Lumina Vision

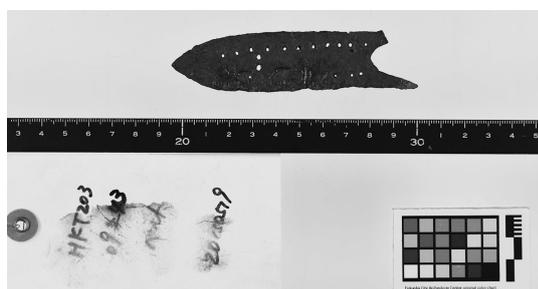


写真9. 無茎有孔鉄鏃

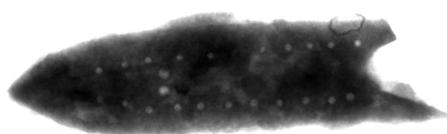


写真10. X線写真



写真11. 連結ガラス玉 (右下)



写真12. 連結ガラス玉X線写真(右下)

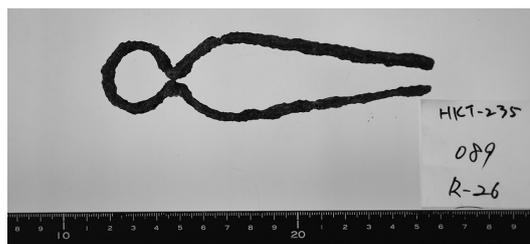


写真13. じょうし 鑷子状鉄製品

令和 2 (2020) 年度保存処理金属製品一覧

処理No.	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書 Fig
博多遺跡群 203 次 (調査番号: 1427 市報 1405 集)					
36588	整理中	板状	鉄	弥生~近世	未図化
36589	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	43-673
36590	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	43-680
36591	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	未図化
36592	整理中	短刀	鉄	弥生~近世	61-862
36593	整理中	刀子	鉄	弥生~近世	83-1041
36594	整理中	鉄鏃	鉄	弥生~近世	88-1075
36595	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	未図化
36596	整理中	鏃	鉄	弥生~近世	96-1150
36597	整理中	釘	鉄	弥生~近世	96-1151
36598	整理中	刀子一部	鉄	弥生~近世	120-1296
36599	整理中	鉄塊	鉄	弥生~近世	124-1343
36600	整理中	鉄鏃	鉄	弥生~近世	124-1342
36601	整理中	釘	鉄	弥生~近世	120-1295
36602	整理中	銅錢 (元符通寶)	銅・青銅	弥生~近世	117-1254
36603	整理中	柳葉形有茎式鉄鏃	鉄	弥生~近世	12-93
36604	整理中	短刀茎	鉄	弥生~近世	5-26
36605	整理中	釘	鉄	弥生~近世	未図化
36606	整理中	短刀	鉄	弥生~近世	未図化
36607	整理中	環状	鉄	弥生~近世	42-382
36608	整理中	小札	鉄	弥生~近世	42-381
36609	整理中	鈎状	鉄	弥生~近世	42-383
36610	整理中	釘	鉄	弥生~近世	44-418
36611	整理中	大型無茎有孔鉄鏃	鉄	弥生~近世	87-828
36612	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	87-829
36613	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	106-998
36614	整理中	鉄鏃?	鉄	弥生~近世	160-1513
36615	整理中	ヤリガンナ	鉄	弥生~近世	134-1213
36616	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	未図化
36617	整理中	鉄鏃一部	鉄	弥生~近世	141-1250、1251
36618	整理中	鉄片 (三角)	鉄	弥生~近世	119-1101
36619	整理中	ヤリガンナ	鉄	弥生~近世	134-1212
36620	整理中	大型釘?	鉄	弥生~近世	未図化
36621	整理中	鏃 (定角式)、連結ガラス小玉 ほか	鉄、ガラス	弥生~近世	61-574~576
36622	整理中	鏃	鉄	弥生~近世	60-558
36623	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	66-640
36624	整理中	鉄棒	鉄	弥生~近世	64-605
36625	整理中	刀子	鉄	弥生~近世	64-604
36626	整理中	鉄鏃未製品?	鉄	弥生~近世	125-1139
36627	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	111-1045
36628	整理中	鉄鏃未製品?	鉄	弥生~近世	111-1044
36629	整理中	棒状	鉄	弥生~近世	124-1131
36630	整理中	柳葉形有茎式鉄鏃	鉄	弥生~近世	125-1139
36631	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	未図化
36632	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	134-1214
36633	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	未図化
36634	整理中	鉄鏃未製品?	鉄	弥生~近世	160-1512
36635	整理中	鉄片	鉄	弥生~近世	未図化
36636	整理中	不明板状 (鉄片?)	鉄	弥生~近世	未図化
36637	整理中	棒状 (刺突具?)	鉄	弥生~近世	未図化
36638	整理中	環状	鉄	弥生~近世	155-1438
36639	整理中	環状組み合わせ	鉄	弥生~近世	64-606
36640	整理中	釘ほか	鉄	弥生~近世	未図化

36641	整理中	板棒状	鉄	弥生～近世	未図化
36642	整理中	釘	鉄	近現代	未図化
36643	整理中	剣?	鉄	弥生～近世	未図化
36644	整理中	棒状	鉄	弥生～近世	18-152
36645	整理中	簪	銅・青銅	弥生～近世	未図化
36646	整理中	小刀	鉄	弥生～近世	54-800
36647	整理中	小刀	鉄	弥生～近世	57-822
36648	整理中	刀子	鉄	弥生～近世	19
36649	整理中	釘	鉄	弥生～近世	24-45
36650	整理中	棒状・環状	鉄	弥生～近世	未図化
36651	整理中	雁股式鉄鍔片	鉄	弥生～近世	5-15
36652	整理中	鉄片(大型)	鉄	弥生～近世	未図化
36653	整理中	環状	鉄	弥生～近世	25-139
36654	整理中	鉄片多数	鉄	弥生～近世	未図化
36655	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	未図化
36656	整理中	鉄片・釘	鉄	弥生～近世	未図化
36657	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	13-125
36658	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	5-61
36659	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	未図化
36660	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	16-150
36661	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	22-198
36662	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	20-188、189
36663	整理中	鉄片(三角)	鉄	弥生～近世	20-191
36664	整理中	棒状・鉄片	鉄	弥生～近世	20-186、190
36665	整理中	棒状	鉄	弥生～近世	未図化
36666	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	未図化
36667	整理中	鉄片(三角)	鉄	弥生～近世	10-83
36668	整理中	銅銭	銅・青銅	弥生～近世	未図化
36669	整理中	大型板状	鉄	弥生～近世	未図化
36670	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	未図化
36671	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	未図化
36672	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	未図化
36673	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	未図化
36674	整理中	不明	鉄	弥生～近世	未図化
36675	整理中	釘	鉄	弥生～近世	24-48
36676	整理中	釘(複数)	鉄	弥生～近世	24-47
36677	整理中	釘	鉄	弥生～近世	未図化
36678	整理中	釘(複数)	鉄	弥生～近世	未図化
36679	整理中	銅銭	銅・青銅	弥生～近世	未図化
36680	整理中	短刀	鉄	弥生～近世	51-764
36681	整理中	袋状鉄斧	鉄	弥生～近世	124-1344
36682	整理中	鎌?	鉄	弥生～近世	未図化
36683	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	未図化
36684	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	未図化
36685	整理中	鉄片	鉄	弥生～近世	未図化
36686	整理中	円筒形銅芯	銅・青銅	弥生～近世	82-782
36687	整理中	不明	鉄	弥生～近世	未図化

博多遺跡群 220 次 (調査番号: 1804 市報 1415 集)

36688	整理中	カヘイ?	鉄	古代・中世	未図化
36689	整理中	八稜鏡片	銅・青銅	古代・中世	25-17
36690	整理中	銅銭	銅・青銅	古代・中世	未図化

博多遺跡群 232 次 (調査番号: 1920 市報 1421 集)

36691	整理中	金銅製金具・銅銭	銅・青銅	中世・近世	25-104
36692	整理中	銅銭	銅・青銅	中世・近世	未図化
36693	整理中	銅銭	銅・青銅	中世・近世	未図化
36694	整理中	銅銭(天口元寶・正隆元寶)	銅・青銅	中世・近世	25-107、108
36695	整理中	小片	銅・青銅	中世・近世	未図化
36696	整理中	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世・近世	25-109
36697	整理中	銅銭(周口□□)	銅・青銅	中世・近世	25-110
36698	整理中	銅銭	銅・青銅	中世・近世	未図化
36699	整理中	銅銭	銅・青銅	中世・近世	未図化
36700	整理中	銅銭	銅・青銅	中世・近世	未図化
36701	整理中	銅銭	銅・青銅	中世・近世	未図化
36702	整理中	小片	銅・青銅	中世・近世	未図化
36703	整理中	銅銭(政和通寶)	銅・青銅	中世・近世	25-105
36704	整理中	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世・近世	25-106
36705	整理中	銅銭	銅・青銅	中世・近世	未図化
36706	整理中	煙管	銅・青銅	中世・近世	未図化
36707	整理中	小片	銅・青銅	中世・近世	未図化

博多遺跡群 235 次 (調査番号: 1938 市報 未刊行)

36708	整理中	棒状	鉄		
36709	整理中	釘・小片	鉄		
36710	整理中	釘	鉄		
36711	整理中	釘	鉄		
36712	整理中	棒状	鉄		
36713	整理中	釘・棒状	鉄		
36714	整理中	釘・棒状	鉄		
36715	整理中	棒状	鉄		
36716	整理中	棒状	鉄		
36717	整理中	釘	鉄		
36718	整理中	ナベか?	鉄		
36719	整理中	釘	鉄		
36720	整理中	棒状	鉄		
36721	整理中	棒状	鉄		
36722	整理中	棒状	鉄		
36723	整理中	小片	鉄		
36724	整理中	棒状	鉄		
36725	整理中	棒状	鉄		
36726	整理中	小片	鉄		
36727	整理中	釘?	鉄		
36728	整理中	釘	鉄		
36729	整理中	罎子	鉄		
36730	整理中	棒状	鉄		
36731	整理中	棒状	鉄		
36732	整理中	棒状	鉄		
36733	整理中	釘?	鉄		
36734	整理中	釘	鉄		

36735	整理中	鎌?	鉄		
36736	整理中	棒状	鉄		
36737	整理中	棒状	鉄		
36738	整理中	銅銭	銅・青銅		
36739	整理中	小片	銅・青銅		

博多遺跡群 236 次 (調査番号: 1942 市報 未刊行)

36740	整理中	棒状	鉄		
36741	整理中	釘?	鉄		
36742	整理中	小片	鉄		
36743	整理中	板状	鉄		
36744	整理中	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅		
36745	整理中	小片	銅・青銅		

箱崎遺跡群 90 次 (調査番号: 1825 市報 1426 集)

36746	整理中	銅銭 2 枚(壽)	銅・青銅	古代・中世	未図化
36747	整理中	鎌	鉄	古代・中世	12-14

箱崎遺跡群 97 次 (調査番号: 1917 市報 1426 集)

36748	整理中	釘?	鉄	中世	未図化
36749	整理中	釘?	鉄	中世	未図化
36750	整理中	釘多数	鉄	中世	未図化
36751	整理中	釘・鉄滓・土器片など	鉄	中世	未図化
36752	整理中	釘	鉄	中世	未図化
36753	整理中	釘	鉄	中世	未図化
36754	整理中	釘・棒状多数	鉄	中世	未図化
36755	整理中	棒状	鉄	中世	未図化
36756	整理中	棒状	鉄	中世	未図化
36757	整理中	小片	銅・青銅	中世	未図化
36758	整理中	棒状	鉄	中世	未図化
36759	整理中	棒状・塊状・鉄片	鉄	中世	未図化
36760	整理中	釘?	鉄	中世	未図化
36761	整理中	釘?	鉄	中世	未図化
36762	整理中	板状	銅・青銅	中世	未図化
36763	整理中	釘?	鉄	中世	未図化
36764	整理中	棒状	鉄	中世	未図化
36765	整理中	棒状	鉄	中世	未図化
36766	整理中	小片	鉄	中世	未図化
36767	整理中	板状・棒状・釘?	鉄	中世	未図化
36768	整理中	棒状	鉄	中世	未図化

箱崎遺跡群 101 群次 (調査番号: 1939 市報 1428 集)

36769	整理中	釘・棒状・ガラス塊	鉄	中世	未図化
36770	整理中	短刀・釘多数	鉄	中世	未図化
36771	整理中	板状	鉄	中世	未図化
36772	整理中	小片	鉄	中世	未図化
36773	整理中	棒状	鉄	中世	未図化
36774	整理中	釘・板状・鉄滓	鉄	中世	未図化
36775	整理中	塊状	鉄	中世	未図化
36776	整理中	釘・棒状	鉄	中世	未図化
36777	整理中	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
36778	整理中	鎌	鉄	中世	未図化
36779	整理中	釘	鉄	中世	未図化
36780	整理中	釘	鉄	中世	未図化
36781	整理中	銅銭(□□元寶)	銅・青銅	中世	未図化
36782	整理中	小片	鉄	中世	未図化
36783	整理中	小棒状	鉄	中世	未図化
36784	整理中	小片	銅・青銅	中世	未図化
36785	整理中	釘?	鉄	中世	未図化
36786	整理中	釘・棒状	鉄	中世	未図化
36787	整理中	棒状多数	鉄	中世	未図化
36788	整理中	釘・棒状	鉄	中世	未図化
36789	整理中	釘	鉄	中世	未図化
36790	整理中	釘	鉄	中世	未図化
36791	整理中	釘	鉄	中世	未図化
36792	整理中	釘?	鉄	中世	未図化
36793	整理中	釘?	鉄	中世	未図化
36794	整理中	釘	鉄	中世	未図化
36795	整理中	小片	鉄	中世	未図化
36796	整理中	釘	鉄	中世	未図化
36797	整理中	釘?	鉄	中世	未図化
36798	整理中	釘多数	鉄	中世	未図化
36799	整理中	棒状	鉄	中世	未図化
36800	整理中	槍?	鉄	中世	未図化
36801	整理中	煙管雁首	銅・青銅	中世	未図化
36802	整理中	刀子茎・釘多数	鉄	中世	未図化
36803	整理中	小片	鉄	中世	未図化
36804	整理中	銅銭 3 枚(寛永通寶)	銅・青銅	中世	未図化
36805	整理中	釘	鉄	中世	未図化
36806	整理中	釘多数	鉄	中世	未図化
36807	整理中	釘	鉄	中世	未図化

高節遺跡 2 次 (調査番号: 1910 市報 1410 集)

36808	整理中	棒状	鉄	古墳	12-30
36809	整理中	剣か	鉄	古墳	9-11
36810	整理中	鉄鎌	鉄	古墳	9-12
36811	整理中	小札か	鉄	古墳	15-57、58
36812	整理中	鉄鎌	鉄	古墳	15-59

三宅遺跡 7 次 (調査番号: 1931 市報 1433 集)

36813	整理中	鉄塊?	鉄	古代・中世	未図化
36814	整理中	刀子一部	鉄	古代・中世	未図化

麦野 A 遺跡 28 次 (調査番号: 1926 市報 1434 集)

36815	整理中	釣針か	鉄	古代	10-8
-------	-----	-----	---	----	------

那珂遺跡群 179 次 (調査番号: 1962 市報 未刊行)

36816	整理中	不明	鉄		
-------	-----	----	---	--	--

付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等

福岡市埋蔵文化財センター条例

〔 昭和56年12月21日 〕
〔 条例 第66条 〕

(設置)

第1条 発掘調査等で出土した考古学的資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を福岡市博多区井相田二丁目に設置する。

(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 資料を展示し、公開すること。
- (3) 資料の専門的調査研究を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

第3条 センターに所長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

- (1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者
- (2) センターの管理上支障があると認められる者(資料の貸出し)

第5条 教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行うものとする。

(損害賠償)

第6条 資料の観覧者又は貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき理由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して3月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

〔 昭和57年教規則第3号により 〕
〔 昭和57年2月22日から施行 〕

福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

〔 昭和57年1月25日 〕
〔 教育委員会規則第4号 〕

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例(昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 削除

(平成24教規則2)

(職員)

第3条 センターに所長を置く。

- 2 前項の職員のほか、特に必要なときは、その他の職員を置くことができる。
- 3 所長は、職員のうちから命ずる。
- 4 所長は、上司の命を受けてセンターの事務を掌理し、及び処理する。
- 5 その他職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。

(平成24教規則2・全改)

(職務権限の代行)

第4条 所長に事故がある場合又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、教育支援部長がその事務を行う。

(平成24教規則2・全改)

(開館時間)

第5条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合

には、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長は必要と認める場合には、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (1) 毎週月曜日
- (2) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館者の心得)

第7条 センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。
- (4) 所定の場所以外に立ち入らないこと。
- (5) 職員が行う管理上必要な指示又は指導に従うこと。

(貸出し)

第8条 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書を教育長に提出しなければならない。

2 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しの許可は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可書を交付して行う。

(令和2教規則22・一部改正)

(寄贈等)

第9条 センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。

2 寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行うものとする。

(申請書等の様式)

第10条 この規則の規定による申請又は許可に関し作成する申請書又は許可書の様式については、教育長が別に定める。

(令和2教規則22・追加)

(委任)

第11条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

(令和2教規則22・旧第10条繰下)

附則

この規則は、昭和57年2月22日から施行する。

附則(昭和61年3月31日教規則第2号)

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附則(平成3年3月28日教規則第7号)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附則(平成4年3月30日教規則第3号)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附則(平成11年3月29日教規則第1号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附則(平成19年3月29日教規則第8号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成19年6月28日教規則第10号)

この規則は、平成19年7月1日から施行する。

附則(平成24年3月29日教規則第2号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附則(令和2年8月6日教規則第22号)

この規則は、令和2年9月1日から施行する。

保存処理設備機器の外部使用許可基準

1. 基本的使用許可基準

外部に対する保存処理設備機器の使用許可に際しては、下記の要件を満たすものであることを原則とする。

- (1) 本市の保存処理業務に支障をきたすおそれがないこと。
- (2) 文化財保護の観点から重要性があり、本市の文化財保護行政に寄与するものであること。

2. その他の使用基準

- (1) 使用は、センター職員の指導・助言のもと、原則として外部担当職員が行うものとする。
- (2) 使用に際して必要となる原材料・作業員等は使用者側(外部)の負担とする。
- (3) 一括委託等請負的な処理は許可しないこととする。
- (4) 民間業者等営利を目的とする団体からの依頼については許可しないこととする。
- (5) 緊急性のある場合や特殊なものを除いて、通常の保存処理については受け付けないものとする。
- (6) 使用に際しては、事前にセンター職員と協議のうえ申請書を提出し、許可を得ることを必要とする。
- (7) 使用にあたってはセンター職員の指示に従うこと。また指示以外の行為により機器を破損した場合は、

使用者側の責任において原状回復すること。

3. 対象機器一覧

本基準を適用する保存処理機器は、別表一覧表のとおりとする。

4. 許可基準の理由(略)

本基準は平成12(2000)年3月1日より施行する。

(別紙)*主な保存処理機器の品名のみを列記

大型PEG含浸槽、一体型PEG含浸槽、真空凍結乾燥機、小型真空凍結乾燥機、有機遺物処理装置、減圧含浸装置、工業用電子天秤、偏光顕微鏡、実体顕微鏡、ビデオマイクロスコープ、赤外線カメラ、画像ファイリング装置、分析用電子天秤、赤外線分水計、大型滑走式マイクローム、蛍光X線分析装置、微小部蛍光X線分析装置、X線回折装置、走査電子顕微鏡、顕微赤外分光光度計、透過X線撮影装置、分析用試料作成装置、マグネチックスターラー、ドラフトチャンバー、精密噴射加工機(エアブラシ)、精密グラインダー、送風定温乾燥機、大型送風定温乾燥機、真空乾燥機、卓上電気炉、純水製造装置、超音波洗浄機、真空デシケーター、攪拌機、真空脱泡用デシケーター、シーラー、バキュームシーラー、ホットエアガン

埋蔵文化財センターにおける有料複写サービス取扱い要項

(目的)

第1 この要項は、福岡市埋蔵文化財センターにおいて、埋蔵文化財センター図書室所蔵発掘調査報告書等行政資料のサービスを行う際の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(複写サービスの申し込み)

第2 複写サービスの申し込みは、口頭で受けるものとする。(複写手数料)

第3 複写サービスについては、福岡市手数料条例(昭和35年条例11号)第2条第2項に基づき実費を徴収するものとし、その複写サービス料金は次のとおりとする。なお、手数料については利用者が見やすいところに掲示

するものとする。

- (1) 用紙の規格は日本工業規格B列5番からA列3番までとし、1枚につき10円とする。

(複写手数料の納入等)

第4 行政資料複写の申し込みがあった場合は、申込者に対して複写手数料の金額を告知し、現金による納入を受けた後、金銭登録機で打出した領収票又は現金領収帳による領収書を交付するものとする。

付則

この要項は平成12年4月5日から施行する。

この要項は平成14年8月1日から施行する。

この要項は平成15年1月7日から施行する。

付2 令和2年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書・年報報告一覧

- 第1405集 博多170：博多遺跡群第203次調査報告（調査番号1427）
- 第1406集 青葉遺跡1：青葉遺跡第1次調査報告（調査番号1811）
- 第1407集 有田・小田部60：有田遺跡群第270次調査報告（調査番号1944）
- 第1408集 香椎A遺跡5：香椎A遺跡第8次調査報告（調査番号1832）
- 第1409集 顕孝寺遺跡1：顕孝寺遺跡第1次調査の報告（調査番号1537）
- 第1410集 高節遺跡1：高節遺跡第2次調査報告（調査番号1910）
- 第1411集 田村19：田村遺跡第27次調査の報告（調査番号1809）
- 第1412集 那珂83：那珂遺跡群第172次調査の報告（調査番号1736）
- 第1413集 中ノ原遺跡2：第6次調査（調査番号1932）
- 第1414集 博多171：博多遺跡群第216次調査報告（調査番号1723）
- 第1415集 博多172：博多遺跡群第220次調査報告（調査番号1804）
- 第1416集 博多173：博多遺跡群第222次調査報告（調査番号1821）
- 第1417集 博多174：博多遺跡群第223次調査報告（調査番号1823）
- 第1418集 博多175：博多遺跡群第227次調査報告（調査番号1904）
- 第1419集 博多176：博多遺跡群第229次調査の報告（調査番号1909）
- 第1420集 博多177：博多遺跡群第230次調査報告（調査番号1911）
- 第1421集 博多178：博多遺跡群第232次調査の報告（調査番号1920）
- 第1422集 博多179：博多遺跡群第233次調査報告（調査番号1935）
- 第1423集 博多180：博多遺跡群第237次調査報告（調査番号1954）
- 第1424集 箱崎59：箱崎遺跡第90次調査報告（調査番号1825）
- 第1425集 箱崎60：箱崎遺跡第95次調査報告（調査番号1842）
- 第1426集 箱崎61：箱崎遺跡第97次調査報告（調査番号1917）
- 第1427集 箱崎62：箱崎遺跡第100次調査報告（調査番号1925）
- 第1428集 箱崎63：箱崎遺跡第101次調査報告（調査番号1939）
- 第1429集 原遺跡22：原遺跡第36次調査報告（調査番号1930）
- 第1430集 比恵89：第152次調査報告（調査番号1818）
- 第1431集 東那珂遺跡6：第8次調査報告（調査番号1901）
- 第1432集 福岡城下町遺跡2：第4次調査報告（調査番号1913）
- 第1433集 三宅遺跡群1：第7次調査報告（調査番号1931）
- 第1434集 麦野A遺跡11：第28次調査報告（調査番号1926）
- 第1435集 麦野C遺跡10：第17次調査報告（調査番号1941）
- 第1436集 吉塚12：吉塚遺跡第18次調査報告（調査番号1907）
- 第1437集 中南部12：比恵遺跡群第138・149、那珂遺跡群第158次調査の報告（調査番号1513・1529・1643）

福岡市埋蔵文化財年報VOL.3 令和元（2019）年度版

- 宝台遺跡第4次調査（調査番号1908）
- 麦野A遺跡第27次調査（調査番号1916）
- 有田遺跡群第269次調査（調査番号1918）
- 飯倉A遺跡第4次調査（調査番号1919）
- 重留B遺跡第1次調査（調査番号1921）
- 那珂遺跡群第176次調査（調査番号1929）
- 麦野A遺跡第29次調査（調査番号1936）
- 福岡城跡第79次調査（調査番号1946）
- 比恵遺跡群第156次（調査番号1956）
- 仲島遺跡第6次（調査番号1833）
- 次郎丸高石遺跡第7次（調査番号1843）

福岡市埋蔵文化財センター年報 第40号

2021（令和3）年12月24日

発行 福岡市教育委員会
福岡市中央区天神1-8-1
印刷 ダイヤモンド秀巧社印刷株式会社
福岡市東区松田3-9-32

FUKUOKA CITY ARCHAEOLOGICAL CENTER

Annual Report

No.40
2021



福岡市埋蔵文化財センター

所在地 〒812-0881 福岡市博多区井相田^{いそうだ}2丁目1-94
 電話 (092) 571-2921 FAX. (092) 571-2825
 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 休館日 毎週月曜日・年末年始（12月28日～1月4日）
 入館料 無料（ただし団体見学の案内は事前に連絡が必要です）
 交通手段 ■西鉄天神大牟田線^{ざっしよくま} 雑餉隈駅から徒歩15分
 ■JR鹿兒島本線 南福岡駅から徒歩25分
 ■西鉄バス 博多バスターミナル12番のりばから
 行先番号 41番のバスに乗車約30分
 板付中学校前（埋蔵文化財センター前）下車すぐ
 ホームページ <https://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>